

授業科目名	ミュージカル表現法 I	担当形態	演習		
		開講学期	春学期		
担当教員	神戸 珠利	単位	1	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

ミュージカルの三大要素の一つであるダンスの基礎を学びます。

ストーリーの流れの中で様々な役を演じるにあたり、身体のためのダンステクニックだけでなく、ミュージカル、オペラ、バレエで良く使われる様々なジャンルの曲に合わせたステップの知識も深め、より完成度の高いダンサーを目指します。

舞台人としての挨拶、マナー、リハーサルから本番までの流れなども習得します。

＝履修の条件と学習の方法＝

身体を動かすことが主になるため、動きやすい服装で受けること。

日常生活から怪我などに注意すること。

授業は毎回ウォーミングアップから始めるので、故障しないために時間を厳守すること。

飲み物、タオル（汗拭き用）は各自持参すること。

身体のどこかの調子が悪い時は、授業前に伝えること。

授業時間外にもできるだけ劇場に足を運び、生のミュージカル、ダンスなどの公演を見ること。

＝授業の概要＝

テーマ「リズムを感じる心を持つ」

- ・ 様々な音楽を聞く
- ・ 日常の中から色々なリズムを意識する（歩く、走る、鼓動等）
- ・ 音楽の持つイメージを読み取る

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認
- 2回 「正しいウォーミングアップ1」フロアで柔軟を行う上での正しい身体のほぐし方、筋肉の鍛え方
- 3回 「正しいウォーミングアップ2」身体の各部位、首、肩、腰、膝、足首の使い方
- 4回 「ダンステクニック1」（ステップ）ステップを踏むうえでのバランスの移動の仕方、美しいポーズのとり方
- 5回 「ダンステクニック2」（ターン）回転するうえでの身体の軸のとり方、スポットのつけ方
- 6回 「ダンステクニック3」（ジャンプ）より高く、より美しく飛ぶためのタイミングのとり方
- 7回 「ワルツ1」ドレス着用時の立ち居振る舞い、エスコートの仕方、され方、扇の扱い
- 8回 「ワルツ2」ワルツステップの踊り方
- 9回 「スウィングジャズ」スウィングジャズの主なステップと振付
- 10回 「ラテンダンス」ラテンの主なステップを振付
- 11回 「その他のステップ」チャールストン、マズルカ、サンバ等のステップ
- 12回 ミュージカルナンバーから選曲し振付
- 13回 前回の振付の仕上げ
- 14回 12、13回の踊り込み
- 15回 「総まとめ」8回～14回までの総復習

=テキスト（必携）=

=参考書・参考資料（必携）=

=成績評価の方法と評価の基準=

授業開始日から終了日までの個々の上達の度合を見込んだ上で、授業内で学んだステップの特徴がきちんと習得されているかどうか、ミュージカルナンバー振付の出来で評価します。

=その他=